



繋

かぼちゃっこ

「笑顔きらきら・夢いっぱい・いきいきチャレンジ宮小っ子」



HP アクセスQRコード

若手教職員と共に成長する ～ 第3弾 ～

「若手教職員にスポットライトを当て、それぞれの持ち味や良さ、日常のがんばりを紹介することで教職員という職業の魅力を伝えたい。」「教職員の笑顔が子供たちの笑顔に繋がるという視点から、保護者並びに地域の皆様方からも若手教職員にエールを送っていただきたい。」という思いで始めた本シリーズ。今号で第3弾を迎えました。今回紹介するのは、佐藤夏奈 主事です。

— 明るい接遇と提案力が魅力：佐藤夏奈主事 —



全校朝会での主事講話

お金の大切さ等を直接説明しました

今年度本校に赴任した佐藤夏奈 主事は、学校事務と会計業務を一人で担っています。持ち味は、「明るい接遇と提案力」です。着任早々、他校からの電話の受け答えが素晴らしく、複数の校長からお褒めの言葉をいただきました。

11月7日（火）には、全校朝会で本校初（？）となる主事講話を行いました。それは、主事自身からの相談・提案を受け、校長が実現させた取組みです。子供たちがあまり意識することのない予算と節約、施設設備維持等について、直接主事が話をすることで子供たちの意識が変わっていくことを期待しています。

【保護者と地域の皆様方も考えてみてください（佐藤主事からの三択クイズ）】

- ①学校で、1年間で扱う予算は？・・・約1500万円・約1700万円・約2000万円
- ②給食費1食当たりの単価は？・・・280円・327円・665円
- ③ブランコ（2人乗り）を増設する場合の予算は？・・・22万円・33万円・55万円

※ブランコ増設は、子供たちからの要望です。ブランコ増設にかかる工事費は別途かかります。

【佐藤主事にインタビュー】

- Q 宮小っ子の魅力は？
A 明るく素直で、元気なところ。また、挨拶や遊んでいる姿から、素敵さが溢れて出ています。
- Q 宮小教職員の良いところは？
A 皆さん、素敵の方々です。私も職員室内の会話に入り、チームの一員としてやる気が出ます。
- Q 今回企画した「学校財務ウィーク」の取組みに込めた思いや願いは？
A 学校の設備や給食等にはたくさんのお金がかかっていることを知ること、物を大切にしたり感謝の気持ちを持ったりして欲しいと願い、企画提案しました。
- Q 今一番力を入れていることやがんばっているところは？
A 電話対応や学校集金事務、予算執行等の毎日の業務を丁寧に行うことです。
- Q これから学校事務職員を志す後輩へのメッセージは？
A 授業をする教員とは違う方法で、子供たちを幸せにするお手伝いができる魅力ある仕事です。

着任早々から子供たちに積極的に話しかけ、休み時間には一緒に鬼ごっこをして楽しんでいる姿が印象に残っています。また、来客があると明るく丁寧に対応し、そのお陰でお客様との会話も弾みます。さらには、学校経営に積極的に参画しようと努力し、自ら企画・提案する姿勢にも感心しています。今後の活躍が益々楽しみです。（校長）

明るい電話対応



職業講話第2弾、子供たちの職業観が広がりました

11月1日（水）に、4年生以上を対象とした2回目の職業講話を実施しました。

近江屋で商店経営を行っている鈴木さんからは、1日の流れのほか挨拶と先見の明の大切さ、そして何よりもお客様との繋がりを重視しているお話がありました。ロイフェン工場で食品加工に携わっている熊谷さんからは、こつこつとやり続けることで必ず自分の目標であるゴールにたどり着けるという生き方のメッセージをいただきました。そして、朝日中学校の吉田教諭からは、小中学校教員の職務の違いのほか、生徒の良い表情を見たときにやり甲斐を感じていることを、生き生きとお話いただきました。

今年度も6名の地域講師の皆様方より、子供たちの職業観や生き方を学ぶ素晴らしい機会を提供いただいたことに心から感謝申し上げます。



4年生：商店経営のお話



5年生：食品加工のお話



6年生：中学校教員のお話

6年生が朝日町の戦禍の暮らしを学ぶ

明日の学芸会で、6年生が「宮小の宝」を発表します。扱う題材すべての背景には、実は第二次世界大戦が絡んでいます。子供たちの歴史の学びを広げ台詞や演技に深みを持たせたいと思い、町史編纂担当の齋藤 隆さんを特別講師として招き、6年生が朝日町の戦禍の暮らしを学びました。第二次世界大戦が起きた要因や戦禍の暮らしと復興までの道のりを、たくさんの貴重な写真資料をもとに説明いただきました。



写真資料を丁寧に説明



真剣に聴き入る6年生